

いきいき笑顔応援プロジェクト

高齢介護課
1階③番窓口
☎939・1164

地域にあなたの「居場所」を

同じ地域に知り合いや友達が欲しい、と思っている方は多いのではないのでしょうか。顔なじみのご近所さんに、ささいな頼みごとができたり、災害時などに声を掛け合ったりできると心強いものです。また、一人で抱え込むことなくお互いに支え合えるような地域だと、安心して暮らし続けることができます。

そんな地域の居場所に参加している方、居場所づくりを運営している方の声を紹介します。

参加している方の声



日下トミ子さん 89 歳 (国府)

ここが楽しくて、歳をとるのが惜しいぐらいいわ!

歌声が響く国府の会館。日下さんが友人と立ち上げたカラオケグループ「万年青会」はもう 21 年目。毎週木曜日に集まり、先生から歌を習って、持ち寄ったお菓子を食べて、とみんなでワイワイ。発表会やバス旅行もします。



間違ってもいいから、とマイクを回して一人ずつ歌うので「認知症にもなれへんと思う」と皆さん。区長さんも地区をあげて協力してくれています。

この会が大好きな日下さんですが、6 年前には脳梗塞を発症して言語障害を患いました。

それでもリハビリを頑張って、またこの場所に戻ってこられるように。「入院しても、退院したらまた歌覚えなあかんからぼーっとしてられへんかったわ。」病気になっても帰る場所がある、日下さんはいつまでもお元気です。

「地域のこんな場所が大事やと思う」と皆さん。これからも歌い続けます。



運営している方の声



地域みんながただおしゃべりできる場所をつくりたい!

「地域住民同士の交流のきっかけに」という地区の福祉委員さんの思いが形になり、約 6 年前から始めた「梅が園カフェ」。桜の時期に加えて年数回開催し、訪れる人はコーヒーを飲みながら色んな人とお喋りを楽しんでいます。

梅が園町地区の福祉委員の皆さん

初めの頃は参加者同士ぎこちない雰囲気もありましたが、回を重ねるたびに顔なじみの関係が深まっているようです。誰でも好きな時間に立ち寄れる自由さや、地区の人が描いた絵などを飾るという工夫も人気の秘けつです。

「私たちが行う見守り活動は、

1 対 1 だけじゃなくて、会に参加する人をみんなで見守れたら“1 対みんな”にできると思うんです。」地区の民生委員さんとも協力し、梅が園町ならではの支え合い体制を

作り上げてきた福祉委員さんたち。今日も地区を思って活動しています。



おいしいコーヒーを片手に、会話が弾んでいます。

絵、写真、折り紙など多くの作品が飾られています



各地域で特色ある活動が行われ、様々な人が関わっています。どのような立場からでも「参加する」ことは、住みやすい地域づくりの一助となり、また自分自身の介護予防にもつながります。

「近くの集まりに行ってみようかな」「何かできることがあれば手伝いたい」「地域に貢献したい」と思ったあなたも、積極的に地域の活動に参加してみませんか?

新年は、一歩踏み出すチャンスです!

地域の活動を知りたい方も、運営に関心のある方も、大歓迎です。ぜひお尋ねください。

藤井寺市社会福祉協議会
☎938・8220

